



環境劇

(特非) フー太郎の森基金

エチオピアにおける緑化意識の 高い先進的モデル町づくりプラン～ グリーン・ラリベラプロジェクト

一般助成

1年目

実践

2カ所の苗畑で
苗木を生産して植林

7万本

小学校での
普及啓発活動

5校

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

エチオピアの世界遺産の村ラリベラ周辺に、当団体が17年かけて273万本の木を植えたが、住民らがそれを賢く利用しながら維持していく仕組みを作りたい。

活動内容

苗木の生産と植林活動では、ラリベラ市内に7万本植林、街路樹176本植樹した。苗木作りは二つの苗畑で2016年11月から開始している。普及啓発活動においては、環境劇を2カ所で上演し、3,500名の聴衆を集めた。小学生を対象にしたスタディツアーには、2回の開催で120名の生徒(特に環境クラブの生徒)と13名の先生が参加。また五つの小学校の構内には34畝の苗畑が作られ、野菜時の苗木作りを行っている。



スタディツアー

今後の課題

適期に苗畑作りを行い、植林、植樹祭などのキャンペーンを軌道に乗せる。また、ただ植えるのではなく、世界遺産の町にふさわしい緑化を進めていく。マイツリー運動など学校での活動も充実させたい。

成果と工夫した ポイント



成果

7万本の植林を完了し、120名の生徒と13名の教員が環境クラブの活動やスタディツアーに参加。3,500名の聴衆が環境劇を観覧した。ラリベラ市より苗畑の土地を無償で貸与され、活動に対し感謝状を授与された。

工夫

住人から10名を採用し研修の後苗畑で働いてもらい、緑化のリーダーとしての育成を行っている。